

平成24年度地区別市政懇談会意見・要望 北地区

平成24年11月13日

No.	質問内容	地区別市政懇談会における回答	現在の状況及び今後の対応等の補足	担当課
1	ヤマビルの進出区域を示したようなマップは作成されていないのでしょうか。それを基にして重点的に対応していく必要があると思います。	農協の組合員を中心に調査させていただき、作成したマップがあります。それを基にシカの生息域、行動域を今、付け合わせをしております。それが重なる場所を重点的に対策していこうと考えております。	ヤマビル生息地マップから、その生息域がニホンジカ等運搬動物の出没エリアと重なることが分かっているため、ヤマビルマップを活用し、ニホンジカの山間部から里地への侵入を防止する広域獣害防護柵(24km)の侵入防止機能の強化を図るとともに、広範囲に生息するヤマビルの被害防止活動に対する支援を拡充しました。	環境保全課
2	ヤマビルについては市と自治会で連携して取り組んでいくような仕組みが必要だと考えます。地域の取り組みに対し、市として協力してもらえることはありますか。	地域単位で、県の補助を活用する制度があります。現在5地域で取り組んでいただいておりますが、更に多くの地域でも活動できるような予算措置についても県に要望しています。また、できるだけ多くの地域で取り組みができるよう研修会の開催も含め、対応しております。	生息地域の住民を対象にした研修会を引き続き開催していくとともに、広範囲に生息するヤマビルの被害防止対策を積極的に支援していくため、県の補助を活用し、平成25年度においては、10地域程度の取り組みが実施できるよう補助事業を拡充しました。	環境保全課
3	ヤギの飼育を通じた荒廃農地対策を実験的に実施しているということですが、予算はどのくらいで、効果はどの程度なののでしょうか。	現在菩提に1頭、上地区の八沢に4頭放牧をしています。ヤギに草をたべさせることによる荒廃農地対策、飼育に伴う地域の子どもたちの情操教育面での効果があげられます。費用は無料レンタルということでお借りしています。牛に比べ水などの補給が少なくすむので飼育に手がかからない面があります。モデル事業として今取り組んでいるところです。	当日の回答に同じ	農産課
4	ヤマビル対策の事業実施団体ということで八沢などでやっているようですが、どんなことをしているのでしょうか。	基本的には農道、林道など道の脇の草刈りやそこに薬剤を撒くといった作業を行っています。特にヤマビルは梅雨時が活動が活発になるので、この時期に叩いておくと、秋口に産卵をして増えていくことを抑制できます。同様に秋雨の時期にも叩いておくことで、越冬後の産卵による増加を抑止できます。ゼロに持っていくには時間がかかりますが、草を刈り、それに合わせ薬剤を使用することで密度を薄くしていくことが効率的であると考えています。	ヤマビル対策については、速効的な被害対策が無いのが現状ですが、生息地の草刈りなど環境整備とあわせ、殺ヒル剤等薬剤を適切に使用することで、生息密度の低減効果は高くなります。広域に生息するヤマビルに対し、こうした取り組みを地域ぐるみで進める必要があるため、市では、地域住民によるヤマビル対策を支援しています。	環境保全課

平成24年度地区別市政懇談会意見・要望 北地区

平成24年11月13日

No.	質問内容	地区別市政懇談会における回答	現在の状況及び今後の対応等の補足	担当課
5	<p>ヤマビルの薬剤というのはどのような薬剤ですか。噴霧器等で撒くものなのか。薬剤の利用ではなく、草を刈って燃やすことでも効果はありますか。</p>	<p>ヤマビルキラーという薬剤で、一般的に虫よけに使うスプレーの中に入っている成分が入っています。振動や炭酸ガス等に反応し出てきたヤマビルに対し直接噴霧します。農家等であれば噴霧器をお持ちかと思いますが、一般家庭で利用するじょうろや、ペットボトルに希釈して撒くことでも対応できると考えます。焼却については、野焼きは原則禁じられていますので、薬剤の使用が効果的な手法であると考えます。</p>	<p>ヤマビル対策として、草刈り等環境整備と合わせて、薬剤を局所的に使用していくことが生息密度の低減効果を高めることから、適切な使用方法等の研修の実施や購入経費の補助等を引き続き行っていきます。</p>	<p>環境保全課</p>
6	<p>鳥獣対策として、銃器による狩猟の規制を無くしてもらえれば、市外の狩猟愛好者が山に入ると思います。そうすれば動物が里に下りてこなくなり、ヤマビル被害も減るのではないのでしょうか。</p>	<p>(要望)</p>	<p>鳥獣保護区は、野生動物の生息地として狩猟の規制が行われる一方で、森林整備等生息適地としての整備が重点的、優先的に実施されるべき区域でもあり、長期的な観点では最も効果的な被害対策だと言えます。 ヤマビル対策としては、こうした鳥獣対策と並行し、ヤマビルの生息しにくい環境整備を進めていくことが重要です。 なお、保護区内においても、農業被害の軽減を目的に銃器による駆除は実施されています。</p>	<p>環境保全課</p>

平成24年度地区別市政懇談会意見・要望 北地区

平成24年11月13日

No.	質問内容	地区別市政懇談会における回答	現在の状況及び今後の対応等の補足	担当課
7	<p>新東名高速道路のインターチェンジは松田町に近い菖蒲地区になるということですが、秦野サービスエリアにスマートインターチェンジが設置されなければ市民の利便性の向上に繋がりません。スマートインターチェンジは不可欠なものであると考えます。</p>	<p>ご意見のとおり、不可欠なものととらえています。設置に向け早期から取り組んでいきたいと考えております。</p>	<p>当日の回答に同じ</p>	<p>新東名周辺整備担当</p>
8	<p>スマートインターチェンジへの接続道路の整備と安全性の確保も併せてお願いします。また、住民への説明会も適宜行っていただきたいと思えます。</p>	<p>本日、市・県・国・中日本高速道路(株)で構成するスマートIC実現化検討準備会を設置しました。接続する主要道路の整備や交通誘導をどう図るかなどについて、今後検討準備会で協議をしていくこととなります。地域の皆さんの意見を伺いながら、安全対策も十分検討し、適宜適切な時期に情報提供していきたいと思えます。</p>	<p>今後とも、新東名高速対策協議会等を通じ、地元の意見を踏まえ、地元へのきめ細やかな情報提供を行ってまいります。</p>	<p>新東名周辺整備担当・道路整備課・国県事業推進課・まちづくり推進課</p>
9	<p>北郵便局と北公民館の間の川沿いの道が通学路にもなっていますが、非常に狭くて危険です。整備はできないでしょうか。</p>	<p>道路を整備するには、皆さんの貴重な土地を売っていただく必要もあり、財政の問題もあります。しかし、現在通学路については国の補助の活用もありますので、優先順位を考慮し、対応を検討していきたいと思えます。</p>	<p>当日の回答に同じ</p>	<p>道路整備課</p>

平成24年度地区別市政懇談会意見・要望 北地区

平成24年11月13日

No.	質問内容	地区別市政懇談会における回答	現在の状況及び今後の対応等の補足	担当課
10	市営住宅の募集はここ数年やっていないということですが、生活が苦しい母子家庭では必要性を感じている人もいるのではないのでしょうか。	母子家庭ということで、お困り事がある方はいらっしゃると思います。住宅に限らず、個々の事情に応じて母子家庭の相談門戸は開いておりますので、ぜひ相談いただけたらと考えます。	<p>現在、老朽化した木造戸建市営住宅入居者の居住環境の向上と土地の有効活用を図るために「秦野市老朽化木造戸建住宅密集事業」を実施しており、募集は控えています。今後は、公共施設再配置計画の方針に基づき、集約事業の進捗状況と市営住宅の今後のあり方を検討していく中で、募集についても考えていきます。</p> <hr/> <p>母子自立支援員及び母子父子相談員が、ひとり親家庭等の各種相談に応じているので、ご相談ください。</p>	<p>建築住宅課</p> <hr/> <p>健康子育て課</p>
11	最近富士山の噴火が騒がれていますが、何か研究等はしているのでしょうか。	秦野市として独自の研究は特にしていません。富士山の災害検討会議の中で、秦野市への影響としては噴火に伴う降灰が10センチメートルから30センチメートル程度であろうといわれています。	平成24年6月には内閣府により「富士山火山防災対策協議会」が設置されました。本市の対策としては、平成25年度から県の避難計画及び降灰処理の状況を踏まえ、具体的な検討を進めながら必要な対策を講じていきたいと考えます。	防災課
12	県で土砂災害防止法の調査をしたようですが、危険な個所への対応はどのようになるのでしょうか。	危険な箇所には、斜度のきつい急傾斜地と、土石流の危険区域という2種類があります。急傾斜地については急傾斜地法という法律に則って対象となるエリアにつき神奈川県が工事をします。このエリアについては、人家が5戸以上あるなどいろいろな条件があり、急傾斜地であるからすぐに工事ということではございませんので、ご相談ください。	当日の回答に同じ	防災課

平成24年度地区別市政懇談会意見・要望 北地区

平成24年11月13日

No.	質問内容	地区別市政懇談会における回答	現在の状況及び今後の対応等の補足	担当課
13	<p>小さな開発により、新しい住宅ができるたびにどこにも抜けられない道路ができて袋小路ばかりになってしまいます。災害時に逃げ道がなくなるなど危険があります。開発の許可時に計画的に道路をつなぐよう指導できないでしょうか。また、このような事態を防ぐためにも現場を確認いただき、地元への説明をきちんとしてもらいたいと考えます。</p>	<p>市としても道路を分断することの無いよう事業者へお願いをしています。しかし事業者にとっては経費がかかることでもありますので、強制はできません。市内部の関係部署でもいろいろと協議を行った上で結論を出していますので、それを踏まえ事業者に対し、協力をしていただけるよう働きかけをしていくことになると思います。また、開発の現場については必ず現地を見ております。その上で調整をしているところですが道路を抜くには、道路用地の確保など様々な問題があるのが現実です。このたびのご意見は持ち帰り検討部会の中でも調整をいたします。</p>	<p>当日の回答に同じ</p>	<p>道路整備課・開発指導課</p>
14	<p>渋沢丘陵で大きな霊園開発が行われると聞いています。このような大きな開発計画があるときはもう少し市民が意見をいえるような説明会の場が必要ではないかと思えます。</p>	<p>(要望)</p>	<p>要望として受け止めます。</p>	<p>開発指導課</p>